

平成26年度 第3回平田地域協議会 会議録（要約）

1. 日 時／平成26年10月10日（金）午前9時00分～午前11時30分
2. 場 所／平田総合支所 302号室
3. 出席者／
 - (1) 1号委員（団体推薦委員）
後藤金美委員、阿曾智子委員、菅原長昭委員、佐藤薫委員、土田雄一委員、
多田光吉委員、長谷部耕次委員、佐藤由紀子委員・・・計8名
 - (2) 2号委員（識見委員）
阿部重敏委員、阿部敬子委員（副会長）・・・・・・・計2名
 - (3) 3号委員（公募委員）
富樫文雄委員（会長）、石黒由香委員・・・・・・・計2名
 - (4) 酒田市
平田総合支所 石川忠春支所長兼地域振興課長、阿部亨建設産業課長、
地域振興課 富樫好課長補佐、太田英一地域振興係主任・・・・・・・計4名
出席者合計16名
4. 欠席届／1号委員（団体推薦委員）庄司美智子委員、土田伸委員・・・・計2名
2号委員（識見委員）土田民子委員・・・・・・・計1名
欠席者合計3名
5. 次 第／
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 支所長あいさつ
 - (4) 会議録署名委員の選任
 - (5) 報告
①酒田市過疎地域自立促進計画の進捗状況について
 - (6) 協議
①平成27年度 平田地域づくり予算について
②地域課題について
 - (7) その他
 - (8) 閉会

6. 会議録／ (1) 開会

▶富樫地域振興課長補佐

(2) 会長あいさつ

▶富樫会長

皆さん、おはようございます。

農家の皆さんは、秋の稲刈りなどで、大変お忙しい時期ではありますが、予算要求の関係がございまして、このような日程で開催させていただきました。

今回特に、地域づくり予算について皆さんから積極的に意見を出していただきたいと思います。

さて、私から東部中学校の件で報告いたします。

現在、グラウンドの改修、体育館の解体という事で、事故も無く順調に進んでいるところでございますが、その中で2点ばかり皆さんに申し上げておきたいと思います。

1つ目は、学校の教育現場で、担任が途中で交代しなければならないという現状がございまして。

これは学校の内部の事でございまして、外部がとやかく言う事も憚られるところもございましてけれども、地域の子たちに与える影響は非常に大きい訳であります。

教育委員会として対応はしているようではございますけれども、非常に問題ではないかと思っています。

2つ目として、統合前の飛鳥、松山の各中学校の時には、中体連などで陸上やサッカー、野球と、いろんなことで、地域の子どもたちは元気に頑張っているなど見ておりました。

しかし今回は、グラウンドの改修工事の影響もあったのかも知れませんが、成績についてはもうひと踏ん張りの状況でありました。

また、私は特別支援学級の学校農園のお世話をしておりますが、これも非常に制約をうけて、各種作物を当初の計画どおり栽培することが出来ませんでした。

これについても出来る範囲内のことは頑張っておりますけれども、子どもたちからは残念がられています。

そういう事で、これからも地域の皆さんからも子どもたちを励ましていただきたいと思います。

(3) 支所長あいさつ

▶石川支所長兼地域振興課長

皆さん、おはようございます。

今日は、大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

台風19号がいま日本に近付いておりまして、この地域は14日に最も接近するというような予報であります。

暴風や大雨が心配されますが、万全な警戒態勢を取っていかねばならないと思っています。

私からは、田沢小学校の関係について報告をさせていただきます。

地域協議会として、体育館の耐震改修を求める意見書を出していた訳ですが、それに対する口頭での回答については、前回の協議会でお知らせしているところであります。

その後、教育委員会と保護者、PTAの皆さんとの懇談会が10月7

日に開催されております。

また、今日の夜に田沢小の教育を考える会という事で、学区の自治会の役員の皆さんとの懇談会が開催されることになっています。

話し合われた内容については、これから情報が入ると思いますし、必要に応じてその内容をお知らせさせていただきます。

同じく、田沢小の関係ですが、9月議会で田沢小の危険度の診断を行うための予算が措置されました。

体育館、教員室、理科室など、まだ改修されていない部分を、改めて調査するものです。

来年の夏過ぎくらいまでは調査結果がまとまるというような事ですので、その調査も踏まえてこれからいろいろ検討が進められていくという事になると思っております。

先ほど会長からありました、本日の協議・報告案件については、過疎計画の進捗状況につきまして報告させていただきたいと思っておりますし、地域づくり予算の要求案につきましても、その内容をお示しし、協議させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(4) 会議録署名委員の選任

▶富樫会長

会議録署名委員として、佐藤由紀子委員を選任いたします。

(5) 報告

①酒田市過疎地域自立促進計画の進捗状況について

▶石川支所長兼地域振興課長（資料に沿って説明）

▶富樫会長

今、報告ありました件について何か質問ありますか。

▶後藤委員

高畑山村広場整備事業についてですが、既に解体して立派に出来ておりますけれども、来年度は解体したところを芝生にするのでしょうか。

グラウンドゴルフ協会の話ですと、古いところも貼り替えるそうですけれども、そうなのでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

古いほうの貼り替えは、計画の中には入っておりません。

解体したところに芝を貼り付けることになります。

併せて進入路と駐車場を整備する計画であります。

なお、芝は現在グラウンドゴルフ協会の皆さんから管理していただいております。

▶後藤委員

関連して、芝刈り機ですけれども、生涯学習センターにある古い機械を借りてしているものですから、時々故障するのだそうです。

それで、新しい機械を買うとか、修理は出来ないのでしょうか。

会員の皆さんが刈っているのです、芝刈り機を新しいのに替えるような予算はないのでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

そういう要望は、管理に協力していただいているグラウンドゴルフの皆さん方から受けていますので、生涯学習センターの機械であったり、支所の機械であったり、場合によってはそれも使いながら、それでも対応出来ない場合は検討させていただきます。

▶富樫会長

それでは他にありませんか。

▶長谷部委員

鳥海南麓の造成事業負担金は償還が完了になっている訳ですけども、これは工事費の地権者負担金と、それに関わる金利負担、これら全てが完了したという意味合いですか。

▶阿部建設産業課長

はい、そのとおりです。
24年度の最後の償還で完了です。

▶長谷部委員

それでは、今度はその管理はいかなる場合においても地権者、もしくは耕作者、それに関わる人たちで全ての責任を持ってあのエリアを管理して行くのですか。

▶阿部建設産業課長

償還が終わっても、管理自体は従前と変わりません。

▶長谷部委員

危機管理的な部分は、発生と内容によっては、行政の予算で修復なり再生なりを図れるという条件は入っているのでしょうか。

▶阿部建設産業課長

災害等が発生した場合は、道路等は酒田市の所有になっていますので、酒田市が災害復旧をします。

個人の圃場等が崩れた場合は、農地の被災ということになりますので、自己負担も発生することになります。

▶長谷部委員

例えば東側の法面は相当な高さがある訳ですけども、ああいうものの崩壊などの場合はどういう負担割合になっていくのでしょうか。

▶阿部建設産業課長

法面も酒田市所有の法面と個人の所有の法面があるので、それぞれで条件が変わってくると思います。

▶長谷部委員

確認しますが、畑の法面、道路と畑の法面は、これは道路が上にある法面が下にある場合は、これは行政の管理下ですか。

それと、畑対畑の法面は個人の管理下ですか。

▶阿部建設産業課長

道路など公共のものとの間にある法面は市の所有になりますし、個人の畑と個人の畑の間にある法面は、上の畑の方の所有になります。

▶多田委員

南麓にちょっと強い雨が降ると、新山地区には泥水が流れて来ます。

途中にプールのようなものを作り、ワンクッションおいて水を流すようにしているのだと思いますが、一部浸水するところもあります。

出来た当時から言っていますが、一向に直っていません。

危機管理の問題だから、これは絶対にやらしてもらわないと困ります。

私は南麓の土を専門の人から見てもらいましたが、あそこの土地にはアルミを含んでいるのだそうです。

山を剥いだわけで、栄養なんかある訳ないと思います。だから肥料をたくさんつぎこまなければならないと思います。

また、もみ殻の問題もあります。消防署から見つからないようにして燃やす人、畜産農家にやる人、山に捨てる人もいます。

もみ殻を焼いたり、ペレットにしたりしていますが、大面積になると追い付かないのが現状ですので、一緒に対策を考えて欲しいと思います。

▶阿部建設産業課長

泥水を流さないようにという話は前から聞いてはいる訳ですが、具体的な対応はまだとられていない状況であります。

土壌が悪くて堆肥を多く入れないと、という話もありましたけれども、いっぱい入れて、土地の状態が良くなった時に雨が降ると土ごとに流されてしまうというのも泥水が流れる原因の一つにもなっています。

圃場の傾斜がきついという事も原因で、普及課の指導の中には圃場の中に、溝を切ってそこで止めるような方法も提案されてはいるのですが、溝を切ることによって作業効率が悪くなるというまた別の問題が出て来るものですから、なかなか進んでいかない状況にあります。

お話しの通り、それを途中の沢で、一回水を貯めて上水を流すという形で途中で沈殿させる仕組みになってはいますが、それも満杯に近くなって、越えているところもあり、沈殿しないで流れてしまうという状況にあります。

それらの施設の所管は農林水産課ですが、一緒に現地を見ながら相談はしておりますけれども、いまのところ具体的な動きには繋がっていないという状況であります。

それから新山地区の東光坊沢につきましては、砂防ダム計画がありますので、それが出来ると若干良くなるものと思っています。

下の方の大明溝の水路につきましては、前にもお話ししましたが、改修するという事で今年調査をしております。

具体的な計画内容は聞いていませんけれども、途中、県道にぶつかった所からまっすぐ川に抜くという案もありますので、まとまったらまた地元にお話をしたいと思っています。

もみ殻につきましては、畑や田圃の中で燃やしている方がいますが、煙の影響があるため、市広報等で燃やさないでというお願いもしていますが、薫炭を作っている方はしょうがないという事もあります。

この処理というか別の形で活用することをお話としては承りますけれども、他地域の対応事例を調べておりませんので、これから農協等と相談していきたいと思っています。

▶富樫会長

他に何かありませんか。

▶長谷部委員

これから我々の山間部を含めた地域をどうしていくのか。

地域創生という制度をどう活用していくか。

その事も念頭に置いて議論していきたいと私は思っているのですけれども、難しい問題です。

これからもこの協議会で検討課題に入れておいてもらいたいというのが私の意見です。

▶富樫会長

長谷部さんの提案について、皆さんからもご理解いただきたいと思えます。

次の課題に関する協議もありますので、報告はこれで終了します。

(6) 協議

①平成27年度 平田地域づくり予算について

▶石川支所長兼地域振興課長

阿部建設産業課長

(資料に沿って説明)

▶富樫会長

27年度の地域づくり予算案について事務局の説明がありましたが、どなたか質問、ご意見ございませんか。

▶長谷部委員

相対的に見まして、27年度予算案が26年度予算よりプラスになった項目が3項目、同額が7項目という事で、25万の増となっているようです。

質問の1つ目ですが、一つの項目で一つの事業というのは比較出来ませんが、複数の事業を載せているものは、事業ごとの予算はどうなっているのでしょうか。

出来れば、事業ごとに前年度と比較出来るようにしてもらいたいと思います。

2つ目は、陶芸教室の廃止というのがありますが、これは今まで高畑運動広場でやっていた縄文の野焼きと、陶芸教室の廃止ということでしょうか。

それと、旧阿部家にも電気式の陶器焼き窯が設置をされていますが、これはどのようになるのでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

予算の関係ですが、先ほど廃止したものの、新規のもの、リニューアルしたものという事で申し上げましたが、それ以外に刺し子教室、文化祭、映画事業などがあり、これは今年度と同額予算で組み立てています。

それから、廃止なった事業分については、親子自然教室の拡充、婚活事業のリニューアル、そして健康ウォーキングのマップ作りに振り向けています。

中身としては、健康ウォーキングマップ作りに10万、親子自然教室

等に30万程度振り向けています。

それから、陶芸教室の廃止については、生涯学習センターで行っていた陶器をつくる教室事業の廃止であります。

旧阿部家にあります窯は、土人形づくりに取り組んでいる方が教室を行っておりますが、それにつかっているものです。

▶長谷部委員

支所長の答弁ですと、それぞれの執行予算というのは事業ごとに分かっているようです。

だとすれば、項目ごとに事業予算をきちんと出せませんか。

▶富樫会長

事業別の予算を出してくださいとのことですが、出すことができますか。

皆さん、どう思いますか。

▶土田委員

今すぐは出せないのだとすれば、この次あたりでも出してもらった方がいいと思います。

▶石川支所長兼地域振興課長

了解いたしました。

事業ごとの予算については、後日、資料を出させていただきます。

▶富樫会長

それでは後日資料を出すという事で、お願いします。

そのほかに何かありませんか。

▶後藤委員

体育協会が今年度で解散すると、このあいだ体協の会長さんがグラウンドゴルフの大会で言っていました。

資料を見てもよくわからないのでお聞きしますが、次年度以降の各スポーツの大会に関して、予算は付いているのでしょうか。

それともこれからは、各コミ振単位でそういった行事を組む事になるのでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

現在、スポーツ大会事業については体育協会と目ん玉スポーツクラブに委託しておりますが、体育協会が今年度で解散されますので、来年からは体育協会にお願いしていた事業も含めて、目ん玉スポーツクラブで行っていただくことになります。

目ん玉スポーツクラブは独自の事業もやっていますけれども、あくまでも委託事業については、予算に基づいて実施していただくことになります。

▶富樫会長

その他、ありませんか。

▶阿部（重）委員

花いっぱい推進事業についてですけれども、いま建設産業課長の説明では、来年度は苗を主体にしていくという事で、大変ありがたいなと思っております。

というのは、地元の方でもこの事業を取り組んでいるのですが、高齢化が進んで来まして、種から作るのが大変容易でないので、この事業をやめたいということを言われています。

予算的に見ますと去年と同額という事になると何か厳しいような感じを受けますが、苗であれば助かりますし、この事業をすすめていきたいと思しますので、今後ともよろしくお願いします。

▶阿部建設産業課長

いまお話のように、種から育てるようになったのは、お金がかからないようにという事で進めてきた訳です。当然、苗にすれば数が減るといいう事も出てくるかと思いますが、とりあえず予算の中で賄っていくしかありませんので、その旨を参加団体の方々にお話をしながら協力していただこうと思っております。

▶阿部（重）委員

とりあえず、間隔を開けるとかしてスペースを埋めて行くような方法を考えながら、やっていきたいと思しますのでよろしくお願いします。

▶富樫会長

他に意見ございませんか。

▶石黒委員

文化祭の日に、日本の芸能を楽しむ会ということで毎年、浪曲師の玉川さんたちから来ていただいているわけですが、入場状況はどんな感じでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

入場状況は、ホールの席が全部で212席に対し、だいたい7割ぐらいではないかと感じています。

▶石黒委員

日本の芸能を楽しむというのが頭についているので、古典的な物に行くのはしょうがないと思うのですが、もっと年齢層を広げるために、少し若いタレントさんを混ぜるとか、人が集まるような企画の仕方をしていただきたいと思えます。

それと、場所によってはポスターが何十枚も余っていたようですが、一枚200円と聞いたので、例年通りではなく、無駄な所をもう一回見直して予算を上手く使ってもらったら良いかなと思えます。

▶石川支所長兼地域振興課長

文化祭はご存じのとおり実行委員会でやっております、そこで事業内容とか予算の組み立て方も相談してもらっております。

おっしゃる通り、ポスターやチラシにはかなりの予算がかかりますが、26年度は印刷費をかなり抑えています。

そして出来るだけ他の部分に予算をまわしています。

日本の芸能を楽しむ会についても、今年度のプログラムはカラーでなくて白黒にしていますし、浪曲だけでなく、シャンソンや太神楽なども入れて工夫をしております。

少し話が変わりますが、酒田出身のお笑いマジックコンビのキャラメルマシーンが11月17日に来ますけれど、そういったものも加えるとかは、ある程度可能だとは思いますが。

ただ、この地域に縁のある玉川さんに人選などをお願いしていることもありますので、これからの参考にさせていただきます。

▶富樫会長

その他、ありませんか。

ないようですので、27年度地域づくり予算についてはこれでよろしいですか。

▶一同

はい。

②地域課題について

▶富樫会長

それでは、次に移りたいと思います。

地域課題について何かございませんか。

▶後藤委員

田沢コミ振の会長から要望されたのですけれども、楯山地区の小升田林道に陥没している箇所があるのだそうです。

それを何とか改修出来ないものかという要望です。

もう一点、元田沢の鷺沢川の堆積土砂の撤去を何度もお願いしていますが、捨て場所は確保出来ているので、早く撤去してもらいたいという要望です。

▶阿部建設産業課長

楯山地区の小升田林道につきましては、被災した箇所がその前の年に災害復旧をした場所で、同じところが崩れた場合にもう一度国の災害復旧の対象に出来ないという事になっております。

規模が大きく、市単独で復旧をするのは大変なので、新たな災害として上げて国の補助を受けて災害復旧すると、農林水産課では考えております。

河川の土砂撤去について、鷺沢川以外でも要望はたくさん出ておりまして、場所の決定については県が行う事になります。

先ほどお話しありましたように、土砂を処理する場所があるところが優先されるということを前々から言われておりますので、鷺沢には土砂処理場所があることを伝え、早めにしていただくよう要望したいと思います。

▶富樫会長

その他にありますか。

▶多田委員

この前、会議で建設産業課長にお話ししていたのですが、新山と檜橋の間に測量が入っているのは何ですかと聞いたら、確認して詳しいところを後でお知らせしますという事だったので、そのことについて説明してください。

▶阿部建設産業課長

実際に測量している人から聞いている訳ではないので、詳しいことまでは分かりませんが、今年、新山地区から下流までの災害防止の事業で水路改修の調査事業が始まっております。

今年と来年度、2ヶ年間ありますが、そのなかでの作業の一つだと思います。

酒田市で土地連に事業委託をしておりますので、その測量作業だと思います。

▶富樫会長

その他ありませんか。

▶阿部（敬）委員

生涯学習センターを利用した市内小学校の自然教室は、昨年度よりも増えていると聞いていますし、県外からも問い合わせがあると聞いております。

その他にも生涯学習センターを利用してくださる方も多くいます。

そこで思うのですが、ここに来て良かった、またここを利用したいという、そういう気持ちになれるように、生涯学習センターの施設整備や受け入れ体制の充実など、もっとしっかりしたものにしていく必要があります。

支所でももっと力を入れて取り組んでもらいたいと思います。

▶富樫会長

これについても、このあいだ小学校から言われたのですけれども、金峰少年自然の家や白井自然館にはインストラクターがいますし、生涯学習センターにも、インストラクターが必要なのではないか、という提案がありました。

▶後藤委員

田沢コミュニティ振興会で地域の人口動態を調査したところ、高齢化率が50%を超えた集落が2集落もあることが分かり、皆さん大変驚いていました。

他の地域の状況も知りたいので、自治会ごとの資料を出してもらえないでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

このあいだ、8月末の自治会長会でも同じような話がありました。

人口動態の資料は各自治会長には配布しておりますので、同じものであれば、資料として出すことは可能です。

▶後藤委員

同じデータでいいので、出してもらおうとありがたいです。

▶石川支所長兼地域振興課長

それでは、後ほど配布いたします。

▶富樫会長

佐藤（薫）委員、何かありませんか。

▶佐藤（薫）委員

一つは地域拠点にならない旧分館施設の件についてですが、取り扱いがいまいち分からない部分があるのでお聞きします。

市有地については貸していただく、建物は無償譲渡というような方針はいまでも変わらないという認識でよろしいのでしょうか。

もう一つは、先ほど後藤委員からありましたけれども、管内も高齢化から超高齢化社会に加速的に進んでいて、そのなかで地域住民が安心して暮らせる社会を目指すには、地域包括ケアシステムの構築が必要であろうとされています。

それについては、琢成学区とか八幡地域ではNPO法人が取り組んでいる訳ですけど、平田地域でもこれから何か取り組みがあればお聞きしたいと思います。

▶石川支所長兼地域振興課長

拠点とならない施設については、その維持管理費は28年度まで各コミ振に財政的な支援が行われていますが、29年度以降は支援が終了し、その施設を地元が必要であれば無償で払い下げることになっています。

建物の敷地が市有地のものについては、土地の無償貸与を希望していましたが、現在は賃貸料の減免は受けていますが、無償にはなっていません。

ただ、29年度以降、無償貸与出来ないかということについては、担当部署で検討しているところです。

それから、高齢化のなかでの取り組みですが、平田地域の包括支援センターは寿康園にある訳ですが、琢成や日向のような取り組みはこれからも出て来ると思います。

現在平田地域では、包括支援センターがいろいろな事例に対して自治会や民生委員と協力しながら、対応しているような状況であります。

▶土田委員

ごみ集積所の事なのですけれども、アパートなどでは個々に集積所を設けて集めている訳ですが、旧平田電機のところに宅地が造成され、今後、住宅も10棟ほど建つ予定なのですけれども、そこから出るごみはどうすれば良いのかという相談を受けています。

ごみ集積所を作ってもらって集めてもらえないかという相談です。

それと、農村センターのテーブルの件ですが、私たちも文化祭や敬老会などで、テーブルを借りる事がありますが、古くなって非常に危ないものがいっぱいあります。

運んだりするだけで手を怪我する場合もあります。

何とか数は少なくとも良いので、更新してもらえないでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

ごみの集積所は、そこに住む皆さんが設置することになっています。

集積所設置の補助金がありますので、地域で相談して、その制度を活用していただくのが一番現実的な考えだと思います。

▶阿部建設産業課長

農村センターの机につきましては、センターで使っていたものが古くなって使えなくなったということで更新しました。

古い机は今も屋外用として使っているわけですがけれども、使えないという事で新しくしたものですから、それをまた直して貸し出すという事は今のところ考えておりません。

使えるものだけはお貸ししますという形になります。

▶富樫会長

菅原さん、何かありますか。

▶菅原委員

郡鏡山谷コミュニティセンターの駐車場の舗装の件です。

防災資機材庫が出来てから、ゲートボールもやらなくなっているものですから、そこを是非駐車場にしたいなと思っておりますので、支所からも要望を上げていただければと思います。

文化祭やいろんなイベントがあれば、道路へ駐車しています。

駐在所からは毎回指導も受けており、事故の起きないうちに整備したいと思っています。

▶石川支所長兼地域振興課長

各コミュニティ振興会からも来年度の事業予算の要求が、まちづくり推進課に上がっていきます。

駐車場整備についても、コミュニティ振興会から、まちづくり推進課に繋いでもらいたいと思います。

もちろん、支所としてもまちづくり推進課に話をさせていただきます。

▶富樫会長

阿曾さん、何かありますか。

▶阿曾委員

ひらた生涯学習センターは、自然体験教室という事で小学生がいっぱい利用しています。

地域振興課では、自然教室に必要な用具とかは購入しますがけれども、買った用具を入れる物置は、社会教育課にお願いして欲しいと言われます。

私たち実際に活動している人たちが不便に感じている事をお願いしているわけですから、地域振興課と社会教育課で話し合いをして、要望が叶うようにしてもらえないでしょうか。

また、屋外に流し台を設置してあるのですが、急に雨が降ったりするので、屋根をかけて欲しいと思います。

それから屋外炊飯をしているので、屋外に炊事場も欲しいと思います。

自然教室に協力してくれる皆さんと地域振興課、社会教育課と交えて一度話し合いをする場を設けてもらいたいと思います。

▶富樫会長

そういう点についても、現場を見てやらないといけないと思います。
そのほか、佐藤由紀子さん、ありませんか。

▶佐藤（由）委員

先日、民生委員の会議で意見を聞かれたのですが、一人暮らしの老人の方から、冬期間どこかに合宿的に集まって頂いて、そこで共同生活をするという事はいかかなものなのでしょうかということでした。

委員の皆さんも意見を申し上げましたが、大まかなことしか分からなかったのもので、その点をお聞きしたいと思います。

▶石川支所長兼地域振興課長

先日、民生委員の皆さんの定例会があったものですから、私がお邪魔して、いま佐藤さんからお話しがあったように意見を伺いました。

具体的に言いますと、特に中山間地域の一人暮らしをしている高齢者の皆さんが、買い物や通院、雪下ろしなどで不便をきたしている状況にあります。

そこで冬期間だけでも、どこか便利な所で共同生活ができるような施設があれば良いのではないかという意見も市民から出ていますので、そのことについて、地域事情が分かる民生委員の皆さんに意見を伺ったものです。

しかし、民生委員の皆さんも立場上、必要だとか必要でないとかは返答が難しいという事でありました。

▶富樫会長

その他、地域課題について何かありますか。

▶石黒委員

会長さんの挨拶のなかにもありましたが、東部中の先生がまた病気で、二回目の休養に入るようです。

行政で現場の意見とか状況を聞いているか分かりませんが、もう少し目をかけていただければと思います。

▶富樫会長

支所長どうですか。

▶石川支所長兼地域振興課長

今日初めて聞いた話ではありますが、実は学校での様子というのは支所には直接的には入ってきません。

したがって、学校と教育委員会の中でいろいろなやり取りがされているものと理解しています。

ただ、こういう話が地域協議会で出ましたので教育委員会に伝える事は出来ます。

まずは、大変な状況であると思いますので、学校と教育委員会、それから当然PTAという流れでいけば先生と保護者ですから、そういう中で新たな対応の仕方を検討してもらうのが先決ではないかなと思います。

(7) その他

▶富樫会長

それでは、次にその他に移ります。
支所長からあればお願いします。

▶石川支所長兼地域振興課長

それでは、私から3点ほどお知らせをさせていただきます。

一つは、乳幼児の健診の関係であります。現在は船場町の市民健康センターとひらたタウンセンターで行っております。

ひらたタウンセンターでは三総合支所の乳幼児健診を行っていますが、来年度から健診会場を市民健康センターに一本化するという事で検討されています。

その理由は、健康センターでは年間24回、3ヶ月健診とか9ヶ月健診を行っており、回数が非常に多いのです。

タウンセンターでやっているのは、回数が非常に少ないという事で、中には3ヶ月健診が5ヶ月とか6ヶ月後になって健診を受けたりするケースもあるものですから、そういう事を解消したいということと、あと、健診者も減ってきているという事があり、一本化の検討を進めているところであります。

それから2つ目が、平田総合支所の今後の活用ということでもあります。

現在、この庁舎の二階、三階は消防本部が主に使用しております。

新聞等でもご存じのとおり、山居倉庫の前の消防本署が老朽化、また津波浸水エリアにあるという理由で、いま、移転する計画が進んでおります。

その移転に合わせて、この庁舎の消防本部の機能も消防署と一体的に総合防災の施設として位置付けるという考え方で、平成31年度にはここから消防本部がまた移っていくという事で進められております。

そのような中でこの建物をこれからどうしていくかということが一つの課題としてあり、これから検討していく事になります。

そういった状況の中で、荘内銀行の平田支店がこの庁舎の一部を借りて、支店を移したいという事で、相談を受けております。

このこともこれから検討していくこととなりますので、状況の進展に合わせて報告させていただきます。

3つ目は、三総合支所の地域協議会の委員の皆さんの研修ですが、1月21日の午後からという事で予定しております。

それぞれの地域を視察したうえで、いろいろな情報交換会をしたいということでございますので、後ほど日程等の調整をさせていただきます。

▶富樫会長

その他、皆さんからありませんか。

▶長谷部委員

実は、ふれあい商工会で、加茂水族館の館長を呼んでの講演会を計画しております。

日程は12月の14日で決まっております。

会場はひらたタウンセンターシアターOZを予約してあります。

多くの方からもぜひ聞きに来ていただきたいということで、いま計画しておりますので、具体的なことは追って広報やチラシでお知らせしますので、皆さんからも参加していただきたいと思っています。

▶富樫会長

それでは、ほかに無いようですので、副会長から閉会の挨拶をお願いします。

(8) 閉会

▶阿部敬子副会長

本日は農作業のお忙しい中に皆さんお集まりいただきまして、ありがとうございました。

これをもちまして第3回地域協議会を終わらせていただきます。

会議録署名委員

佐藤 由紀子